

# ふじさわ子育て支援連絡会

H25.6.17 第1回交流会 10:00~12:00

参加者：19名（17団体）+乳幼児5名



～交流会議事録～

## ■前半：団体発表 10:00～

※前半は、連絡会会員の2団体に活動発表をお願いしました。発表順に掲載。

※発表団体からいただいた原稿をそのまま掲載しています。

## 【星の子ロッジ&亀の子ロッジ 鈴木さん】



### 星の子ロッジ

2013年1月活動開始した小さな団体です。コンセプトは

『地域のたくさんの人に積極的に関わりながら子育て・親育ちしていく』

『いのちを感じて・考えて・行動していく』事をコンセプトにいくつかの親子クラスを開講しています！

対象は妊婦さん～よちよちの前の子と保護者です。

現在のクラスは全部で6つあります。どれも 1回500円もしくは500亀銭 (亀銭についてはクラスで詳しい説明を行います) となっています。この価格にできたのは、近隣の高齢者施設の亀吉さんが地域で子育てをするのであれば応援しますと協力をしてくださっている事と、もう一つは講師の方々がすべてボランティアであることです！この価格にした理由としては、地域で子育てする人たちが少しでも多くクラスに参加できて、参加される方同士でつながってもらいたいと思っているからです。昔ながらの目の届く育児。ちょっと通りを歩いていたら『こんにちは』と声をかけられる。そんな地域になっていけたら良いなと思っています。

## ～クラスの紹介～

場所：藤沢市鵠沼海岸 7-5-37-2 階

参加費：材料代・資材代として500円もしくは500亀銭

完全予約制

★**両親学級** 第1回：偶数月第2水曜日 10:30～12:30 第2回：偶数月第4水曜日 14:00～16:00  
第3回：奇数月第2水曜日 18:30～20:30

星の子ロッジで実は一番熱い想いを込めたクラスです！

対象：妊婦さんとその家族。産後ファミリーの方ももちろん歓迎！

内容：1回目：『産む身体と心づくり』を担当されるのは、吉村医院(薪割りそうきんがけで名の知れた産院)で働いていた助産師さんです。本来自分が持っている力を改めて気づかされます。ゆったりした時間の中お話しします。2回目：『家族を迎える心の準備』を担当されるのは、乳幼児教育施設スコレにて代表でもあり統括指導員でもある先生が実際の子ども達との経験を伝えながら子どもとのかかわり方を伝えます。3回目『妊婦体験&交流会』星の子ロッジお手製妊婦ジャケットで妊婦体験をしたり、出産のDVDを見たりと家族で迎えるその日に向けて心の準備をしていきます。これら1回～3回で1セットとなります。偶数月に1回目・2回目があり、奇数月に3回目があります。

★**マタニティヨガ**→2013年7月から**リラックスヨガ**となりました。第1・3火曜日 10:30～12:00

対象：マタニティの方から産後6か月までを対象にした内容に変更しています。希望すれば月齢に満たなくても参加できます。

内容：身体をゆっくりゆったり少しずつ解放していきます。

★**ベビー手話** 第2・4火曜日 13:45～14:30

対象：妊婦さん～お話できるようになるまで。

内容：赤ちゃんと一緒に楽しくお手で会話を一緒にしませんか？手話のDVDを途中で見ながらクラスを進めていきます。

★**パパママ交流会** 毎週火曜日 14:30～15:30

対象：妊婦さん～産後の方・パパさんママさん。

内容：日頃何気ない不安や、困ったこと、うれしかったことなどみんなでざっくばらんにお話ししましょう！

★**ベビーマッサージ** 第1・3火曜日 13:30~14:15

対象：新生児~よちよちまで

内容：わらべ歌やご本を読んだりしてベビーマッサージを行います。

★**産後ママヨガ**→2013年7月~**アクティブヨガ**となりました。第2水曜日 14:00~15:30 第4火曜日 10:30~12:00

対象：産後7か月からを対象にした内容に変更しています。\*希望すれば月齢に満たなくても参加できます。

内容：いきいきと活発に動かれる産後ママさん達と一緒に、日頃の身体のリラックスに加えて、身体を思いっきりのばして解放していきます。

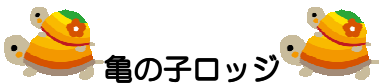
~参加するときはどうするの?~

- ・完全メール予約制
- ・先着順。定員になり次第予約締切
- ・おひとり各1クラスずつ予約可能

[hoshinoko\\_kamenoko@yahoo.co.jp](mailto:hoshinoko_kamenoko@yahoo.co.jp) まで参加される方(母子ともに)の名前と振り仮名・お子さんの誕生日をご連絡下さい。

~クラスはどんな感じ?~

Facebookで『星の子ロッジ』で検索されるか、『子育てネット藤沢』で体験レポートが載っていますので、そちらもどうぞご覧下さい。



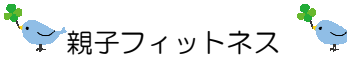
**亀の子ロッジ**

本鵜沼駅近くにフリースペースを解放していました。たくさんファミリーが遊びに来てくれました。ありがとうございます!2013年9月からリニューアルするためフリースペースを閉鎖し、現在絶賛準備中です。

9月~場所を鵜沼海岸7-5-37-2階に変更します。

参加対象は歩ける子~小学生までとその保護者を対象としています。

\*星の子ロッジと亀の子ロッジの参加対象で迷ったらまず参加してみて、『私はまた受けない!』とか、『ちょっと違う感じがな...』と決めていただきたいです!若しくはfacebookで各クラスの状況がUPされていますので互確認下さい。リニューアル後は



★親子フィットネス ★音楽クラス(仮名)が

新しく開始されます!ぜひこちらも楽しみにしてください!

このたびは連絡会にて星の子ロッジ・亀の子ロッジの説明をさせていただきありがとうございました。地域で活動し始めてまだ半年ですが、地域の方と積極的に関われたらうれしいなと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

---

**【湘南おっぱい育児の会 渡邊さん】**

活動：2001年4月に活動スタート(現「まなびカフェ」主催の佐久間さんが発足)  
(2009年に代表を引き継ぐ)

主旨：母乳育児中の母親が集う場を設け、母乳育児(育児全般を含む)の情報交換や、同じ境遇の中で育児への不安や悩みを話し、共有し合い、またアドバイスし合うなど、母親同士の精神的な支え合いやストレス解消の場となっている。育児環境の改善や、心身ともに健全な母子の関係を築く場となることを目指し、活動している。

対象：生後間もない赤ちゃん~未就園児とその母、妊婦さん、母乳育児に興味のある方(好きな時に授乳できる場であるため、男性は参加しにくいのが現状。要望があればパパ参加のおっぱい会も開催可能。)

開催：月1回(予約不要)

場所：主に藤沢市労働会館1階和室

時間：10時半~12時(お弁当持参、14時まで開放することが多い)

スタッフ：15名(内4~5名が会に参加)保育ボランティア3名(内1~2名が会に参加)

参加費：300円(通信費、印刷費、会場費など)

体制：母乳育児を推進する活動を行っているが、それを強制するものではない。母乳で頑張りたい人には、それを力強くフォローする。一方断乳を望む人には、そのための適切な情報提供を行っている。それぞれそれぞれの考え方があり、それを尊重しながら、母子共になるべくストレスのかからない方法（特に母親からの一方的なものではなく、母子が歩み寄り形）で解決できるように努めている。

現在の状況：予約制ではないため、当日何組が参加するかは把握出来ず、天候にも左右される。子育て応援メッセなどのイベントでチラシを配布するか、HP で開催情報の告知をするのみで、参加者は減少している（3-4組の参加が多いが、参加者なしの場合もある）。最近では他団体、他業種（子育て支援関連）とのコラボレーションにより、参加者の増加を試みているが、参加者が多過ぎれば対応しきれず、また少ない参加者であればじっくりと聞き合えるという点でメリットもあるため、（一人一人のお母さんがリラックスし、お喋りの延長で色々な悩みが吐露できること、また悩みとは思っていなかったことが、実は深刻な状況だったと分かることもある。など）参加人数についてはそのバランスが難しいところである。

最近の活動：○歯科衛生士さんによる虫歯予防の講座（砂糖ゼロの生活-母乳は虫歯の原因ではない）

- かながわ母乳の会「わいわいがやがや母乳育児を語ろう」藤沢市での開催（小児科医、産婦人科医、助産師、看護師、鍼灸師、など様々な専門家が集うかながわ母乳の会の恒例イベントを藤沢市にお呼びした）
- 湘南の小さな出張写真館（ママさん写真家）による授乳フォト撮影とのコラボレーション
- エナジーフィールドさんとのコラボレーション予定
- 藤沢市・善行・村岡・湘南台・長後各子育て応援メッセへのブース参加（母乳育児相談、チラシ配布、母乳育児関連の書籍紹介など）
- 藤沢市健康メッセへのブース参加（年配の方向けに母乳育児情報の発信）（今年の開催は未定）
- お産カーニバル（助産院主催）へのブース参加
- ふじさわ子育て支援連絡会への参加

要望：最近では授乳グッズも充実し、限られたスペース以外での授乳シーンが増えています。外で授乳しているところを見かけることがありました、是非温かい目で見守って頂きたいと思います。（授乳することは決して青少年に悪影響を与えるものではありません。公の場でそのような注意を受けることは母親にとってとてもショックなことです。間違えたとらえ方をするような社会であってはならないと思います。）

## 質疑応答

質1：ネット（mixi や facebook など）で相談を受け付けることはあるのでしょうか？

答1：時間を割けるスタッフがいないこともあり、ネットでの相談は受け付けていない状況。メールを頂くこともあり、その時は返信している。また基本的に、顔の見える環境で聞き合うことを大切にしているので、おっぱい会へ足を運んでくれる人を支援の対象としている。

質2：他団体との交流は考えていますか？

答2：やりたい気持ちはあるが、スタッフそれぞれが乳幼児の子育てに追われている状況なので、できないのが現状。団体間での企画や、開催までのやりとりや、作業の時間が取れないため、企画して頂いたイベントに乗っかる形ならば、いつでも共催は考えて良い。

質3：チラシの配布について、助産院などに置いてもらうのはどうでしょうか？

答3：繋がりのある齊藤助産院や井本助産院などにはチラシを置かせて頂いている。また、スタッフの近所で置かせてもらえる小児科なども当たっている。

## ■後半：グループ交流 11:00～

\*\*\*テーマ\*\*\*

～どんな人と一緒に活動したいですか？～

子育て支援に熱意のある人、資格保持者、時間が空いている人、何か魅力的なものを持っている...などなど  
協力したい、自分の団体のスタッフに誘いたいと思うのはどんな人ですか？

※後半は、4グループに分かれて意見交換、交流を行いました。  
※2人以上で来られている団体の方は、別々のグループに分かれていただいています。  
各自、思いついたことをカード（メモ用紙）に書き出し、お互いのメモを見ながら、さらに話を深めていきました。

## ★A グループ

構成：NPO法人まつぼっくり・青空保育でんでんむし・湘南どんぐり広場・ゆめこびと・主任児童委員

NPO法人まつぼっくり：発足は発達障害児の「親の会」から。今スタッフはヘルパー(有資格者)・資格取得勉強中のかたで、時給1000円で活動。その資金は、高齢者福祉・介護保険から。障害手帳を保持している方には、まつぼっくりのイベントに料金安く利用できるが、所持していない方がイベント等を利用すると高い料金設定になっている。

・障害者手帳は自己申請。障害者手帳を持ちたくない保護者の方もいる。スタッフも障害者手帳をもつことのメリットも話すが、最後は保護者の判断。

・民生委員さん：片瀬で行っている子育て広場のスタッフ構成：保育士・心理員(ボランティア)・・・人材として呼び掛けたときに、社協や青少協に声かけして地域一般のかたにも入ってもらっている。

『ボランティア募集』のチラシやお知らせだけでは集まらず、つながりやつてが大事。

・ゆめこびと：村岡の「むらっこひろば」は人が足りなくて、公民館の方に呼び掛けてもらってぎりぎり。

・でんでんむし：鎌倉で自主保育の上映会と子育て応援メッセで広めたら皆さんやってきた。自主保育に理解ある保護者のみ来るので、問題がない。

※社協にはいると・・・：活動費用年間10万円補助。空き店舗利用(家賃)補助・街づくり協議会に参加。メリットがうけられる。

※子育て支援に関係する人たちは、自分の子供の年代が終わると関心が薄れてしまう  
だから、常にフレッシュな状態を入れて活動を維持していくことが必要。

例：でんでんむしさん

コアな方は2-3人で残りのスタッフは単発で参加できるしくみがよい。

※ボランティアの人手不足に対応するには：地域で子育て支援に関するこんな団体がここで活動している「マップ」「人材バンク」があるといい。活動日や活動場所によってボランティアできる。

→現状：どこもボランティアの人手不足問題があり、また子育て支援という狭い枠でボランティアが食い合う状態に。自分の都合でボランティアしたい方もいるし、一つの所属団体にとどまらず、流動的にボランティアを動かさないか？

\*\*\*\*\*

## ★B グループ

大友さん（地域魅力）

○活動をともにしている人

ママ・パパリポーター（ボランティア）を実施

○一緒に活動したい人

- ・子育てに関する身近な情報をサポートしてくれる人
- ・情報発信を手伝ってくれる人

野上さん（湘南生活クラブ 湘南ふじさわ commons）

○一緒に活動したい人

- ・食品添加の問題知識がある人とのつながり
- ・資金の積み立て法、目的に合った賢いため方を教えてくれる方

- 活動の場所を提供してくれる場所を探せる方（低コストで）
  - サークルの運営をしている人
- これまでの実績
- お住まいの住居をフリースペースとして開放してくれる方を探し実現した

狩野さん（善行あいの会 あいうえお）

- 一緒に活動したい人
- 次の日とへつなげていく人材
  - 専門的資格を持っている方+子育て経験のある方（保育、看護師、栄養士等）
  - 一日を通して活動に関わってくれる方

飯田さん（からふるふれんど）

- 一緒に活動したい人
- 障がい児者の事を一般向けに後援会、勉強会をしていける人
  - 障がい児を持つ親子と活動してくれる方と知り合い続けたい

横川さん（亀吉）

- 一緒に活動したい人
- お互い様を大切に出来る人
  - 主体的に活動する人
  - 他人に関心が向けられる人
  - 責任を持って行動する人

### グループ総括

「それぞれの活動に対する地域を有する方や、専門職としての見解が持てる方、主体的に活動する人と活動をともにしたい。また、専門知識はなくても、そこに問題意識を持っている方と一緒に活動する事で、新たな発見がお互いに出る様な方とも活動をともにしていきたい」

\*\*\*\*\*

### ★Cグループ

星の子ロッジ 鈴木久美子  
 まなびカフェ：佐久間実花さん  
 エナジーフィールド：宝官さん  
 インターナショナルピアノ教室：萩原裕子さん

- 子育て中の親のしんどさを理解しサポートしたい気持ちのある人
- 約束の時間にきてもらえる人(雨だから・・・お昼寝し始めたからとかでキャンセルしない人)
- 笑顔の人
- コミュニケーションを積極的にとれる人
- 新しい発想をもってる人
- 英語と音楽両方に知識やテクニックをもってる人
- 海外の子育て事情に興味のある人
- 子育てしながら自分自身の学ぶ意欲も満足させたい人
- パソコンを使い、見る時間のある人
- こだわりが強すぎない人
- 子ども同士が仲良くなればもっとうれしい
- 経験者
- これから子育てにはいる妊婦さん等 がポストイットで提示されました。

### \*\*\*Cグループ まとめ\*\*\*

これらの希望を叶えるためには、子育て真っ最中という人も良いけれど、それ以外の学生や、ある程度子どもが大きくなった 40代 50代世代の方は子育て経験あり、時間的にも余裕がある方が多いのではないかと考えられました。なので一緒に活動しようと交渉をする事が良いのではないかとになりました。ほかに高校生であれば学校に働きかけ長期休みを利用してボランティアに来てもらい、生徒には単位として認めてもらえないか…等。相互にギブ&テイクできれば活動も長期に渡り続ける事ができるのではないかと話し合いました。

\*\*\*\*\*

## ★Dグループ

どんな人と一緒に活動したいか？

どんな人材が必要か？

世代交代のための人材育成をどうするか？

おっばい会

- ・ 一人の負担が重くならないように役割を分担する。
- ・ 会の進行など、だれでもできるように役割を持ち回りにし、誰が抜けても活動が滞らない環境を作ることによって世代交代もスムーズにできるのでは？
- ・ スタッフを会員とし、年会費を集めることで、参加者の人数に関わらず運営を可能としている。（活動に賛同してくれる会員を増やす）
- ・ スタッフのモチベーションを保つための工夫が必要。

子ども会

- ・ （民生委員は）定年があるので、その時期が近づくと後継者として推薦したい人に打診する。町内会単位なので、必要人員はその町内ごとに決まっており、引き継ぎに関しては、担い手がいないということにはならない。一人の負担が多いところで500件になることもあり、交通費、電話代、訃報があれば自分で出費することなど、活動費として頂く範囲は軽く超してしまう。大変な仕事なので、推薦されても断る方もいる。
- ・ 子ども会は、大人が段取りを整えたいうえに、子どもたちが言われたことをやる、という受け身の活動になってしまいがちだが、本来は子どもが主体となって企画し、活動すること、また保護者はそれを見守り、出来ないところを助ける役割を担うことが望ましい。

でんでんむし

- ・ 子どもの遊びたい気持ちを大切にし、習い事などで遊びが中断することがないように、遊びに集中できる環境を作るようにしている。子どもの自主性に重きを置き、子ども発信で活動内容が決まる事が多い。保育者や親は子どもがやりたいことの実現に向けてバックアップしている。子どもの気持ちに寄り添った視点が必要。（子どもの「ちょっと待って」を理解できる親、大人が望まれる。）
- ・ 受け身ではなく主体的に動ける人、子どもがやりたいことを実現するお手伝いをしたい、という気持ちを持つ人と活動したい。こどもの気持ちに添うことができる人。
- ・ 子どもの持つ力を引き出せるような人材や支援が必要。

ベビーズ★かふえ

- ・ （理想としては）企画が持ち上がったときに、その企画に賛同してくれる人（そのスキルを持った人）がワッ集まり、その作業が終了すると同時に解散。次の企画で、また別の賛同者で活動する、というように、その企画毎に毎回新しいメンバーで活動すると、常に主体的に行動できる人の集まり（企画に対し興味のある人の集まり）になり、モチベーションも保たれる。どこの団体でも、団体として活動を続けていくと、「やりたいこと」とは別に「（義務的に）やらざるをえないこと」も出てきて「ボランティア」だけでは継続していくのが大変な部分もあると思う。
- ・ やる気のある人、信頼関係を築ける人と活動したい。
- ・ 子育て当事者の「当事者意識」が反映されることが重要。乳幼児連れでの当事者活動は何かと大変なので、乳幼児世帯ではない人がそういった人たちの想いや活動をサポートすることは可能。自分の子どもは成長して、乳幼児時代を過ぎてしまったが、今の自分にしかできない支援方法があると思っている。→多様な年代のスタッフが集まると良い。
- ・ ボランティアワークをする上での時間配分が上手な人や、自然と情報発信が出来る人、子育て経験者などの人材が必要。

その他

- ・ （市民会館で年一回行われている）メッセのボランティアは、児童民生委員さんなど既に地域活動の経験豊かな人たちが来ていて、人材の質が高い。
- ・ 色々な世代と一緒に活動し知恵を出し合える環境が大切。
- ・ ボランティアグループは、人と人との（アナログな）繋がりや顔の見える関係を大切に活動しているところが多いが、それを様々な人の目につくようにネットを介した情報の伝達も必要。また、そのネット環境を理解し発信できる人。

## ■交流会終了後の感想・意見

※ それぞれ、紙に書いていただいたり、後日メールで感想をいただきました。  
ありがとうございました。

- ・今日は子育てメッセの情報をいただきたかったので良かったです。×切に間に合わないところでした。おっばい会にボランティアに行くお話ができて良かったです。
- ・星の子ロッジさんの様々な形の子育て支援が素晴らしいと思いました。湘南おっばい育児の会は大切な部分の話。若い人にも（結婚する前の中高生くらいの人にも）伝えてもいいかも。
- ・交流会では、今まで知らない団体の方々との話はとても学ぶことが多くもっと話たいと思いました。活動している方の熱意を感じましたが、ボランティアが集まらないのはどこも同じ悩みですね。
- ・役員の方々、お疲れ様です。又、新しい方との出会いがうれしかったです。おもしろいですね。
- ・初めての参加ですが、イロイロな団体の様々な話が聞くことが出来、とても勉強になりました。知らなかった事（まつぼっくりさんのような団体があることなど…）を知ることが出来たのはとても良かったです。私自身、でんでんむしに入会してまだ1ヶ月なので、色々わからない事だらけですが、回を増す事に色々な方と関わりを持っていけたら良いと思います。次回は今回話したことがどのようになったのか、少しでも知ることが出来たら良いなと思いました。
- ・NPO のまつぼっくりさんと運営のお話ができよかったです。社協や青少協といった地域の団体とつながれると、活動を広めたり、子育て支援に興味のある人をスタッフとして取り込めるかも、という話に納得。
- ・子育て支援の人材ボランティアバンクは良い案かもしれない。
- ・全体にしまりがないので、もう少し時間の流れなど、しめるところしめた方が良いのでは。得意発表の場面は全体の準備ができた状態から行うべき。
- ・今日も様々な団体、視点を知れて勉強になりました。“問題”を提示し合うことによって理解力が深まるなど感じました。豊かなソフト面の大切さを意見交換の時間に感じました。
- ・班ごとに分かれたディスカッションでは、それぞれ異なる立場や活動を行っているにも関わらず、子育て観や子どもに対する姿勢で共感できるところが非常に多く、子育て支援をする上でどんな環境作りが必要か、どんな人材が望ましいか、お互い思うことを確認し合えたことはとても意義があった。子どもの遊びに関して盛り上がった話題で、こどもが泥団子作りの途中で、「もう帰ろう」という母の声に「ちょっと待って！」と返って来たとき、何故ちょっと待ってなのか、多くの親は一方的に遊びを中断させてしまうところ、とても精巧に作られるその行程を知ると、（丸まった泥団子に、さら砂を根気よくかけ、最後に葉っぱで丁寧に磨きをかけ、ツルツルの団子に仕上げた時の子どもと言ったらこの上なく幸せそうな顔をする。）それを途中で止めさせることなど出来なくなってしまうのだ。最後までやらせてあげる、ちょっと待っての意味を理解してあげることは、大切なことだよ、と私たちの班の誰もが頷いた。子どもの感覚と親の感覚とは違うし、違って当然ではあるが、時には子どもの視点に立って考えることも必要で、子育て支援のあり方も見えてくるのではないかと思った。
- ・どこでも必要とされる人・人材は、子育て支援に意識の高い人、子どもの気持ちに寄り添える人といったニーズがあると思いました。その一方で、慢性的に子育て支援のボランティア不足、子育て支援サポートをする側が思うよう集まらないといった側面もあると思いました。どの活動団体にもある共通の悩みですね。

## ◆出欠票にあった意見等◆

- ・役員補充の件、飯田さん、承認いたします。どうぞよろしくお願いいたします。今回の交流会は都合が悪く、欠席します。次回を楽しみにしています。（こぼと文庫）
- ・各団体の活動の様子が分かり、又、子育て広場（湘南どんぐりひろば）から依頼をいただき、世界のおもちゃで遊ぶ場を持つことができ、おもちゃ遊びを楽しんで下さいました。母親も特に「こま」を喜んで回して遊んでいただきました。（おもちゃの広場 タンポポ）
- ・初めての参加ですので、皆様の活動の様子を聞かせていただき今後の参考にしたいと思っております。
- ・いつもお世話になっております。今回久しぶりに参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

----- 最後までお読みくださってありがとうございました